

経営発達支援計画
H29年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

地域経済動向調査レポート

～京丹後市版～

(平成29年10月～12月期調査)

京丹後市商工会

～全体的に復調気配あるが人手不足や原材料高騰が重しとなりわずかな改善に留まった市内産業～

＜調査概要＞

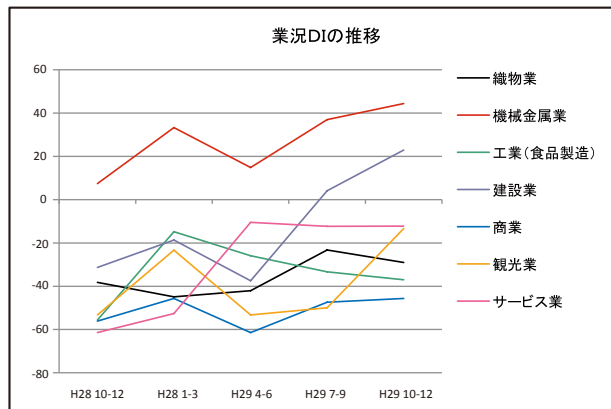
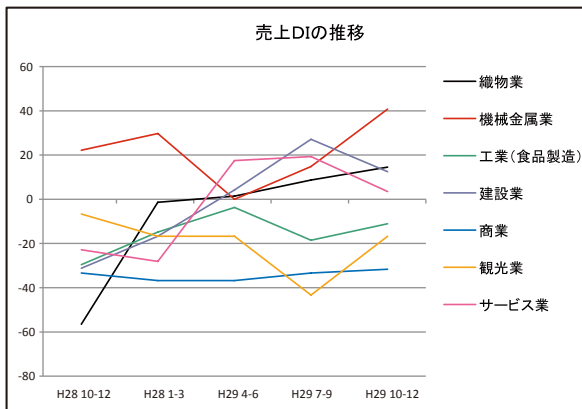
調査対象：地域内の小規模事業者等105件

調査期間：2017年10月～12月

調査方法：当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査票への選択記入式

＜産業全体＞ 復調気配あるが人手不足や原材料高騰が重しとなりわずかな改善に留まった市内産業

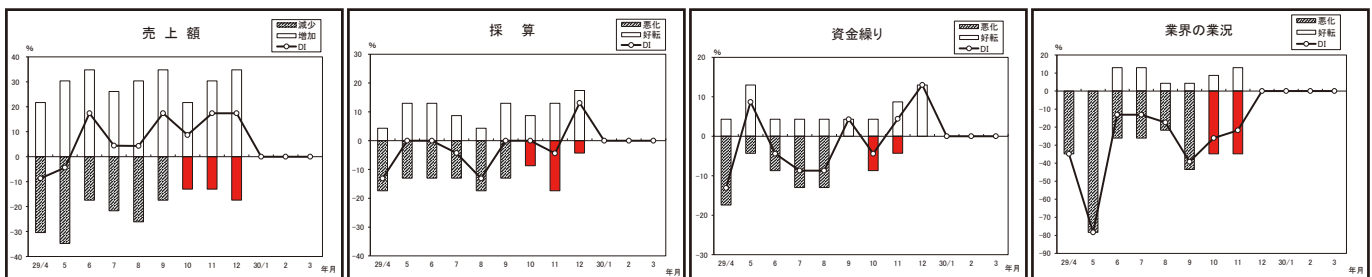
10月～12月の小規模企業景気動向調査は、前四半期(H29.7～9月)と比較して、売上、業況DIはわずかな改善、採算、資金繰りDIはわずかに悪化となった。売上DIは、機械金属業と観光業が25ポイント以上の大きな改善となったことで、産業全体を押し上げた。しかし、他の項目において、機械金属業以外は依然低調水準で、人手不足と原材料高騰が全業種共通の足かせとなっている。



※上記グラフは、前々四半期、前四半期の該当DIの平均値を算出しグラフ化したもの

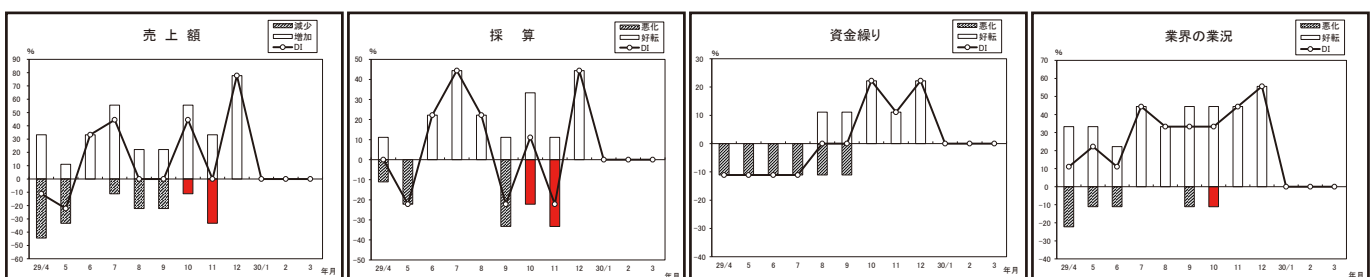
織物業 売上DIは3期連続改善するも、採算ベースで利益確保が難しく業況も低水準が続く織物業

織物業は12月に入り、全ての項目で改善傾向となった。前四半期(平均値)との比較では、売上DIは3期連続で改善(1.7ポイント)を示した。しかし、それ以外の項目ではわずかに悪化し、業況も依然低水準が続く。経営支援員からも、受注量が安定してきた一方で、原材料高騰が激しく、人手不足も年々顕著化してきており、採算ベースで利益確保が難しくなっていると報告があった。



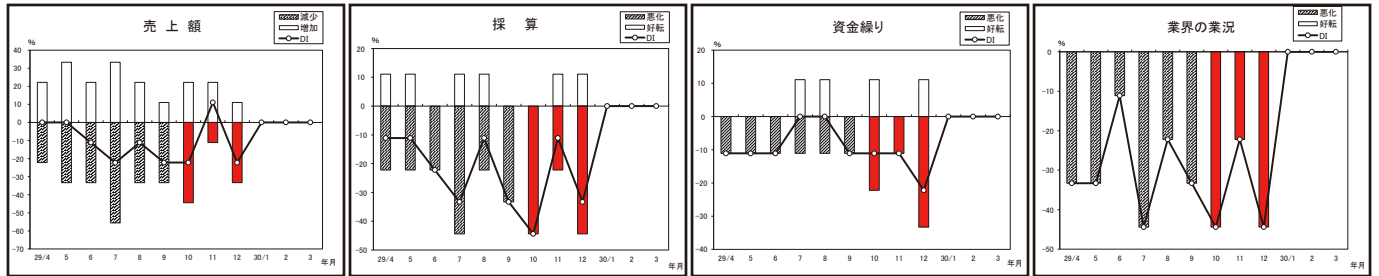
機械金属業 依然、好調をキープし他の業種を引っ張るも、人手不足と原材料の高止まりの機械金属業

機械金属業の全ての項目は先月から一転、大きな改善を示し好調をキープしている。前四半期(平均値)比較においても、採算DI以外は改善を示し、特に売上DIは、30ポイント以上と大きな改善となった。業況DIも依然高い水準で推移し、本地域の産業全体を牽引している。一方で、経営支援員からは、人手不足の顕著化と、原材料の高止まりしていることから、採算ベースでの悪化が想定されるとの報告があった。



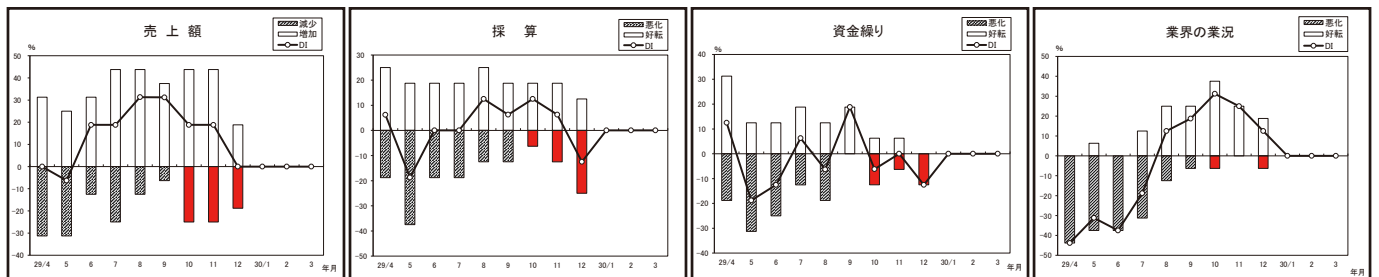
工業(食品製造) 度重なる台風被害に加え、原材料高騰等が重なり収益確保に苦慮する工業(食品製造)

工業(食品製造)の全ての項目は11月の改善から一転、大きな悪化となった。前四半期(平均値)と比較すると、売上DIは7.4ポイントと改善するも、他の項目は、平均▲6ポイント悪化した。経営支援員からも、前年と比較してお歳暮やクリスマスイベント、正月等の年末年始の需要が少ない上、人件費や原材料高騰、度重なる台風被害の修繕等の費用が嵩み、利益を圧迫しているとの報告があった。



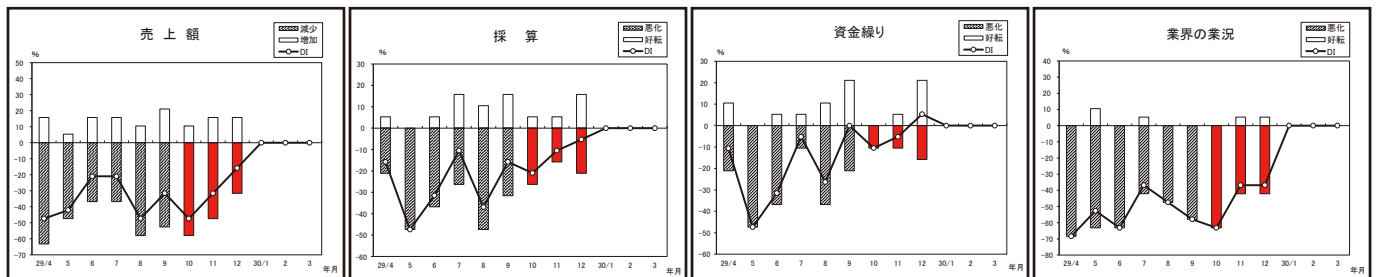
建設業 一時的な受注も含め仕事量は安定しつつも、人手不足や材料高騰等が続く建設業

建設業の業況DIは、前四半期(平均値)と比較して、18ポイント以上と大きく改善したものの、売上DIは大幅に悪化、採算DIは小幅悪化、資金繰りDIは不変となった。民需・公需ともに受注は安定してきたとの報告がある一方で、突発的な災害復旧工事等で、一時的な仕事量の増加を歓迎しつつも、人手不足感が根強く、材料費高騰等により受注したくても受注できないとの報告があった。



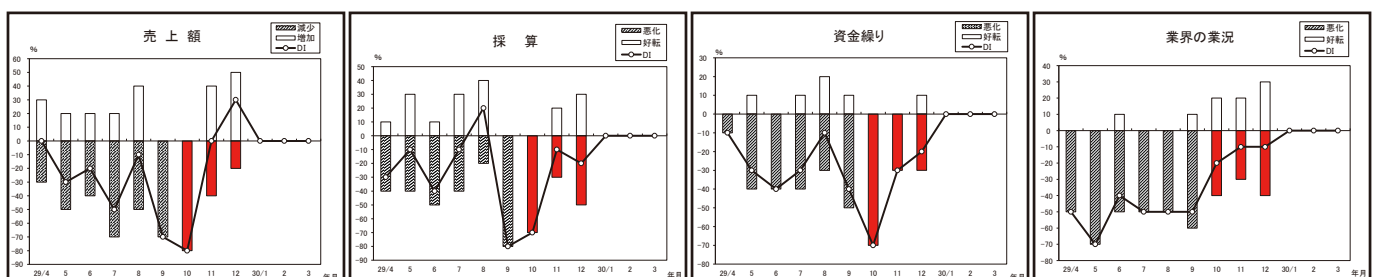
商業 売上減少が下げ止まるも、原材料・輸送費高騰等の影響で、依然厳しい状況が続く商業

商業は全ての項目において改善傾向を示し、前四半期(平均値)と比較でも2期連続で小幅であるが改善した。経営支援員からは、お歳暮やクリスマスイベント、正月等の年末年始の売出し等が好調であったとの報告がある一方で、週末ごとに到来した台風により観光客の減少やイベントの中止になるなど、売上の機会損失が多く発生した。また、原材料に加え輸送費高騰の影響により粗利益率が低下しているとの報告があった。



観光業 好調の兆しが見えるも台風被害、原材料高騰に加え、人材不足が機会損失を招いた宿泊業

観光業は、天候にも恵まれた11月、12月で、売上DIは大きく改善した。前四半期(平均値)との比較では、売上DIと業況DIは共に25ポイント以上大きく改善したが、採算DI、資金繰りDIは共に悪化した。経営支援員からは、12月に入ってからは好調であったとの報告もあるが、10月に発生した週末ごとの台風の影響により、突発的な修繕費用が発生した。また、カニや牡蠣等の原材料高騰も重なり利益確保を悪化させた。他にも、人材不足が原因のクレームや宴会売上の取りこぼしも深刻化しているとの報告があった。



サービス業(飲食店) 原材料高騰等で利益確保難しく、回復のきっかけがつかめないサービス業

サービス業の売上DIは回復基調を示すが、前四半期(平均値)との比較では全ての項目において僅かながら悪化した。経営支援員からは、お歳暮やクリスマスイベント、正月等の年末年始の需要を取り込み、売上確保をしているところがある一方で、天候不順により客足が鈍り、原材料や燃料価格が値上がりするなど採算が悪化しているとの報告があった。

